

# Beautiful Rights

「私にはキレイになる権利がある」

施設で暮らす女性を対象とした  
メイク事業報告書



特定非営利活動法人

しあわせなみだ



## 「私にはキレイになる権利がある」

特定非営利活動法人しあわせなみだは、平成24年度独立行政法人福祉医療機構助成事業として、「施設で暮らす女性を対象としたメイク事業」を実施いたしました。

1年を振り返り、「私はなぜ、この事業をやりたいかと思ったのだろう」と考えた時、浮かんできたのが、「私にはキレイになる権利がある」という言葉でした。

施設で暮らす女性たちには、施設に来る理由があります。夫や恋人からのDV（ドメスティック・バイオレンス）、親からの虐待、性産業への従事、失業に伴う住居喪失等、現代社会が抱える課題が凝縮しています。

過去の経験により、女性たちは、自分に対する自信を失っています。いや、「失う」というより、「持つことができなかった」と表現した方が、的確かもしれません。人は、誰かから大切にされて初めて、「自分は大切な存在である」と知ります。自己の存在を、誰からも認められずに生きてきた人は、自分を、そして他人を、何物にも代えられない、かけがえのない存在であることに気づけません。

自分の意思を持つことを許されず、夫の顔色を伺いながらひっそりと生きてきた人。親から一度も褒められることなく、生まれてきたことを後悔し続けてきた人。性を売ることでは、生を獲得する手段を持たず、必死に生き延びてきた人。そんな人々にとって、メイクは、「自分の嫌いな部分を隠す道具」もしくは「自分から遠くかけ離れた存在」でした。

メイク講座を通じて女性たちが得たもの。それは、「自分が持っている権利への気づき」です。「きれいになっていい」「自分のために時間を使っていい」といった、当たり前のことが、施設で暮らす女性たちにとっては「知らなかったこと」「驚くべきこと」なのです。そして「女性であるがゆえに、困難な人生を歩まざるをえない」と信じてきた自分が、女性であることを認め、誇りに思える瞬間を創り出しています。

施設退所後の生活は、非常に厳しいものです。DVや性産業への従事等により、離職期間が長期化している中高年女性の再就職は、困難です。育児のため、正社員雇用をあきらめざるをえない母親は、少なくありません。障がいにより、一般就業が難しい方もいます。本事業が、こうした現実を生き抜く力となり、女性たちの自律を応援する存在であることを、本当に嬉しく思います。

特定非営利活動法人しあわせなみだ  
理事長 中野宏美

# 施設で暮らす女性を対象としたメイク事業

平成24年度独立行政法人福祉医療機構助成事業

4施設にて計22回、メイク講座を開催

【実施施設】 婦人保護施設 2か所 / 母子生活支援施設 2か所

【参加者数】 のべ118人

【メイク実施団体】 メンタルケアメイク21（化粧療法ボランティア団体）

## 現状

婦人保護施設、母子生活支援施設等の施設では、経済的自立に向けた支援、退所後の安全確保に向けた支援等が行われている。しかし、DVそのものが女性に与えた心身への傷の回復に向けたアプローチは、人員不足もあり、なかなかできてない。結果として、施設をなかなか退所できなかったり、退所後再び別の施設で暮らすことになる女性も、少なくない。



メイク事業

- ❁ 社会性を回復し、自己確認による安心が得られるセラピー的な効果
- ❁ 化粧によるリラクゼーションが、ストレスによりダメージを受けた脳の健康を回復させる効果  
外見を装うことで、自分を確認し、納得のいく像に近づけていく



自分と向き合う  
きっかけ

- ❁ 日頃ほとんど外出しない人が、メイク講座後身支度をして外出
- ❁ 入所から間もなく自分の殻に閉じこもっていた人がメイク講座をきっかけに職員や他の利用者と話せるようになる

# 心まで元気になれるような メイクを届けたい

メンタルケアメイク21 田島みゆき

2001年に発足したメンタルケアメイク21(MCM21)は、ご自身の力だけではおしゃれを楽しむことが難しくなった認知症高齢者・障害をお持ちの方々を対象に、都内近郊の高齢者・障害者施設、病院などで月数回、メンタルケアメイク（化粧療法）活動をおこなっています。高齢者施設ではレクリエーション、介護予防事業の一環として、障害者施設ではレクリエーションのほか就労支援や社会復帰支援の一環として行っているところもあります。2013年1月現在会員数41名。心まで元気になれるようなメイクを届けたい、という思いでMCM21は活動を行っています。

## 女性施設のメイクを引き受けようと思った理由

メイクをして周りのひとから「きれいになったね」と言われた時、「うれしい」と素直に思い、女性として「やっぱりきれいになるって楽しい」ことなのだと改めて気づいてもらうこと、そしてその気づきによって自分を愛おしく思う自己回復の場になりえるのなら。

## 女性に対するメイク事業で大切にしたこと

外見修正以上に自分をケアすることの大事さに光を当てて、それぞれの自己力を引き出しそれが自信につながるような内容・雰囲気づくりを大切に考えました。

メイク講座中は余計なことを一切考えず鏡に向かって、メイクを楽しんでもらう。「きれいになるって楽しい!」「きれいって褒められて嬉しい!」という思いを誰もが1度は体験できるような90分にしたいと思いました。

## 女性施設でメイク事業を実施してみたの感想

この講座を通して強く感じたのは、自分がどんなにたくさん褒めても、職員さんの声掛けにはかなわない、ということでした。いつも近くにいてくれる、そして女性たちのことを理解し女性たちの幸せを心から願っている職員さんが、きれいだと認めてくれて、心は満たされる、つまり職員さんのフィードバックがあってそこではじめてココロに効くメイク講座の完成になる、ということでした。講座を通して職員さんと女性たちの結びつきを強く感じました。

## これからやっていきたいこと

就労支援につながるよう マナー学も含めたメイク講座。

# メイクが取り戻す自己肯定感と自信

婦人保護施設 いずみ寮 伊比 鮎子

女性たちの家「いずみ寮」は様々な事情で行き場を失った女性たちが地域への自立を目指して生活している施設である。その多くは施設にたどり着くまでの生活歴の中で、何らかの暴力を受け、様々に重複した生活困難を抱えている為、いずみ寮での支援のベースは「心の回復」が大きな比重を占めている。

「しあわせなみだ」との出会いは、2010年に中野さんから「女性施設の女性をヘアサロンのカットモデルに紹介する事業」の案内チラシを送っていただいたことに始まる。当時、私の担当していた利用者の中に、幼少期からの虐待が原因で精神的に落ち着かず施設内作業にも出ることが出来ない人がいた。かつて婦人保護施設では「食・住」は現物給付（医療は生活保護の医療単給）、「衣」に限定した現金給付はあるものの、その他の小遣的な現金給付は一切なかった。（その後、いずみ寮ではその問題を重く捉え、都に相談して2007年から生活支援費として月3000円を事業費から支給するようになったが）

いずれにしても利用者は外勤に出られるようになるまでは、施設内作業に出ることで収入を得て小遣いとすしかないので、その施設内作業にでられないとなると自由に使える現金が本当に少ない状況となる。このしあわせなみだのチラシを見て、とっさに浮かんだのが彼女のことだった。20代の若さで美容院にも行きたかろうと思っていた矢先のことだったのだ。結果的に彼女は利用することはなかったが、このカットモデルの事業は現在も年に6～7人の利用者が利用させていただいている。

その後、中野さんから「施設で暮らす女性を対象としたメイク事業」の内容を伺い、一番興味を引いたのが「メイクをしてあげる」のではなく「利用者が自分でメイクをする」というところだった。なぜなら、かねてから利用者の中には「メイクをした事がない」「メイクの仕方がわからない」という方が多く、自己流で独特なメイクをしてしまい異様な様子で外勤に出かける姿を何度も見ていたからだ。軽度の知的なしょう害があり、育った家庭環境やその後の人生に習得する場がなければ、それも仕方ないことではあった。

2012年から始まったメイク講座では、参加した利用者たちはフランス製という化粧水や乳液をたっぷりと使わせていただき、その香りのよさに皆うっとりとし、机の上に並べられたきれいなメイク道具に思わず歓声があがった。先の異様なメイクをしてしまう利用者も眉の書き方、アイシャドウやチークの入れ方を丁寧に教えていただき、みるみる柔らかな表情に変わっていった。自分にどのような色が似合うのか、どのような化粧品を買えばいいのか、約1時間の講座の中で田島先生からのアドバイスや情報もたっぷり入っていた。

この事業を通して印象的だったのが、いずみ寮に来るまで20年以上も社会と隔離した生活を送って来たある利用者が、メイク講座に参加したときのことだ。いずみ寮に来てからは職業訓練校に通い就労を目指しているが、一度も就労経験がないことがネックとなり就職活動も苦戦していた。生活全般にこだわりがあり、融通の利かない彼女はもちろんメイクをしたことがなく、髪も自分で切っていた。気の進まない彼女を、ある時半ば強引にメイク講座に誘ってみた。はじめは苦虫を噛み潰したような顔をして参加していたが、田島先生の巧みな指導で初めてのナチュラルメイクに挑戦した。周りの利用者やスタッフからも「〇〇さん、きれい！素敵！」と絶賛され、終わった後には満足そうな表情で「このメイクで就職面接に行けば、受かるでしょうか？」と嬉しそうに語っていた。本人に合ったメイクがその人の本来持つ美しさを引き出すだけでなく、その人の心まで自己肯定感や自信を取り戻させるのだと実感した場面であった。

最後に、女性への支援を行っている現場からの課題は、大きく分けて2つある。

まず、暴力（性暴力）被害者へは専門的な治療や支援が必要ということ。医療機関ではない施設での支援には限界があり、医療（専門医）やカウンセリングとの連携なくしての支援はありえない。時間をかけて生活と医療の両面から支援の行える場所が必要と考える。

また、女性性を抱えることで陥らざるを得なかった生き辛さは、なかなか社会では理解を得られにくい。表面的には男女平等を謳われているが、男性中心社会における社会文化的要因が大きい。背景にある暴力被害と、その他の様々な問題と重複し、長期間にわたり女性たちを苦しめている。この女性たちの置かれた実態を明らかにし社会化することは課題であり、関わる者としての責務と考えている。売春防止法（制定後56年経つが基本的な見直しが行われておらず実態にそぐわない）、配偶者暴力防止法とは別に、女性たちの人権を包括的に守る法整備が必要と思われる。

## 「メイクアップ講習会」を実施して

婦人保護施設 救世軍新生寮 諸井 美奈子

新生寮は本入寮(長期)と緊急一時保護所(短期)の機能を併設した施設である。一時保護利用者については、DV法施行後は利用者の増加が著しい。本入寮者については貧困、暴力、家庭破壊、障害等で社会生活を続けることが出来なくなった女性たちが入所している。近年知的・精神のハンディに加え発達障害の増加が著しい。年齢層も10代~60代と幅が大きく多様な個別対応で生活改善を行っている自立支援施設である。

「しあわせなみだ」にはヘアカットでお世話になり、その後メイクアップのお話を頂いた。中野理事長からメイクアップの効果は「自己肯定感や感情表出が高まる」とお聞きする。新生寮の入寮者は成育歴を見ても長く感情や自分の気持ちを押し込めて生きてきた人が多い。そのような効果があるのならばぜひお願いする。開催にあたりポスター掲示や声かけをするが思うように参加者が集まらず、再三の声かけでようやく7人が集まり開催することができた。第1回目は参加者も支援者も初めての試みであったため、ドキドキしながらの参加であった。田島先生の女性心理をうまく掴んだ心地良い言葉が、皆さんの気持ちに入り込み、引き込まれるようにメイクにトライし終盤には目が生き生きとなり表情が変化していった。いつも厳しい表情の人が微笑みながら鏡に向かっていて姿が特に印象に残った。参加者からは「こんなにきちんと化粧したのは初めて」「楽しかった」「自己流のやり方しかわからなかったので、教えてもらってよかった」「今風の化粧がしたかった。教えてもらい良かった」等とプラスの感想が多く聞かれた。今年度全6回開催して頂きましたが、継続しての方も数人いた。お互いに仕上りの良い点を認め合い、和やかな会話ができる雰囲気はサロンのようで貴重な空間であった。来年度もぜひ開催をと考えているが、来年度は外勤者も参加できるよう休日開催が出来ればと思っている。

新生寮の利用者の多くは、生き辛さを根底にした生活困難を抱えている。その原因として精神的・知的ハンディ等と合わせて性暴力を含む暴力被害者があげられる。職員は利用者の新しい生活づくりのために利用者の抱える課題等に十分配慮し利用者の心に寄り添った支援を第一としている。

# 「なぜメイクはココロに効くのか」

矯風会ステップハウス 松浦 薫

## メイクレッスンを始めて気づいたこと

3年前のプログラム導入のきっかけ：ステップハウス内には特別にプログラムはなく、「女性たちが元気になる」ような楽しかったり、気持ちがリラックスしたりするプログラムをぜひやってみたいと思ったのがきっかけです。部屋に引きこもりがちな人、自分に自身を持つことが出来ない人の一歩踏み出すきっかけにしたいと思い始めてみました。



皆さんに参加してもらえるか、参加者がどのくらいになるのかといった当初の心配はまったく必要ありませんでした。初回、10名ほどの熱気がムンムンする中で始まったのを憶えています。メイクレッスンの終了時には毎回記念写真を撮ります。

田島先生を私たちは「美の伝道師」と呼んで、心待ちにしています。午後から始まるレッスンに午前中から準備している人、毎回絶対に休まず参加する人、はじめてお化粧品を経験した60代の女性は、うれしくて化粧品落とさないで寝ましたといわれました。このプログラムが女性たちの心に訴えるものがあると実感しています。

## ステップハウスを利用する女性たち

ステップハウスは夫からのDVや親、兄弟からの暴力などの被害経験のある方の利用が大半です。年齢も10代から60代までの女性たちが約半年間を過ごします。

暴力被害の影響であるトラウマを抱え、PTSD症状からくる抑うつや、不眠、対人恐怖などつらい症状に悩む方も少なくありません。そして性被害を受けている方も多くいらっしゃいます。暴力被害の影響は夫婦間でも性暴力は存在しますし、親、兄弟からの性虐待被害は深刻なダメージを与えます。「体は侵害され、傷つけられ、けがされたと思う」経験です。このことによって「自分の体を大切に思えない、大事にできない」といったことが起きてしまいます。

## 伝えたいこと

「私は大切な人である」という感覚を伝えられたらと思います。性暴力、虐待、性虐待を経験した人はあなたは大切な人というメッセージとまるで正反対の人格を否定するような、メッセージを受けます。特に子ども時代から虐待を受けた人は「いけない子だ」「悪い子だ」と言われ続けた経験を持ちます。このことは成人してからも自分に対する考え方に深刻な影響を与えています。

私たちはメイクレッスンを通じて「あなたは大切なひとですよ」というメッセージを伝えたいと思います。そして「私は大切な人である」という感覚を女性たちがもつきっかけになってもらいたいと考えています。

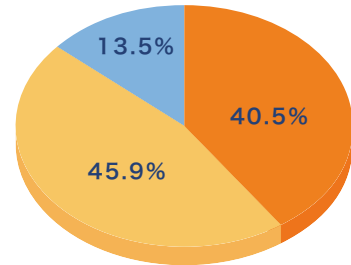


# “ココロにきく”メーク講座 アンケート集計 《入居者用》

回答者数：37名

## 1. メーク講座の満足度を教えてください。（1つに○）

<span style="color: orange;">■</span> とても満足	15
<span style="color: gold;">■</span> 満足	17
<span style="color: lightblue;">■</span> やや不満足	5
<span style="color: darkblue;">■</span> 不満足	0

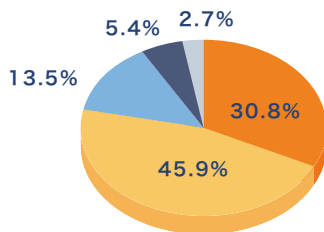


計 37

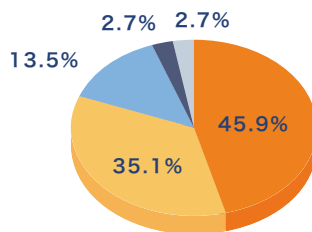
## 2. メーク事業の効果として、以下の各項目について

1) とてもそう思う 2) ややそう思う 3) あまりそう思わない 4) 全くそう思わない  
を教えてください（各項目1つに○）

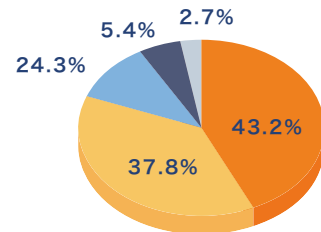
	とてもそう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
1, きれいになった	12	17	5	2	1
2, 自分のメークの参考になった	17	13	5	1	1
3, 楽しくなった	16	14	4	2	1
4, 他の人と話をしたくなった	14	10	9	3	1
5, 外出したくなった	10	10	9	6	2
6, 自分に自信がついた	8	14	9	5	1



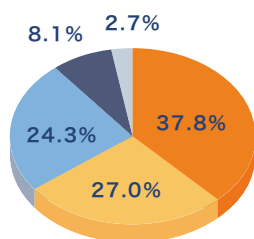
きれいになった



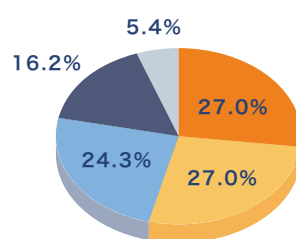
自分のメークの参考になった



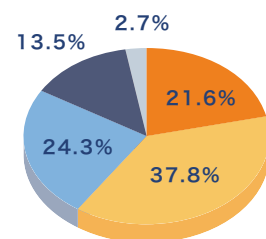
楽しくなった



他の人と話をしたくなった



外出したくなった



自分に自信がついた

### 3. 2の項目以外に、メイクの効果や、メイク前後の自分の変化を感じる事があれば、教えてください

#### 【メイクスキルを学べた】

- ・アイメイクのやり方を教えて頂き、とても勉強になりました。
  - ・先生の、アイシャドウを使って眉毛をかく事を学んで、1つ勉強になった。
  - ・アイシャドウの塗りがきれいになりました。先生に言われた「肌になじむまで何度も」を思い出しながら、指でのばしています。
  - ・それぞれの自分達に合うメイクがちがうこと、服によっても、色が「これのほうがいい」とすすめられ、やったら、とてもよかった。
  - ・私の化粧法は5年位前で止まっているので、今の自分に合う方法が分かって良かったです。お肌の手入れも入念にするようになりました。
  - ・やり方が全くわからなかったので「就職活動の障害になっちゃうかな」と思っていました。でも明るくて教え上手の先生について、少しずつ学べてます。
  - ・お化粧しましたという感じがしないので、いいなとは思えた。
  - ・シワがよらなくなった。自然なメイクが良かったんだと思う。
  - ・メイクをしたあとは、かおがはっきりする。
  - ・メイク前より顔だちがはっきりしました。
  - ・目の下のクマが隠せてとても良かった。
  - ・肌がきれいになった。
  - ・ナチュラルメイク、つやつやで自然体で若く見えた。
  - ・自分のメイクの参考になった。
  - ・参考になりました。
  - ・少しだけ効果がありました。
- 普段はメイクをあんまりやりませんでした。



#### 【自分への意識が高まった】

- ・美を意識するようになる。
- ・きれいになったかな、と思いました。
- ・メイクに合わせて服を変えたりできる様になった。
- ・以前より自分の顔に興味を持つように少しなった（まゆの形等）。
- ・自分ではない自分のはっけんできた



#### 【精神的に良い影響があった】

- ・楽しくてウキウキした。
- ・楽しくなった。
- ・外出したくなった。
- ・メイク講座、その他の講座に進んで参加できれば良いと思いました。

#### 4. メーク講座参加後から、実践したり、意識するようになったことはありますか（いくつでも○を）

	回答数	
他人のメークを見るようになった	15	40.5%
化粧の仕方を変えた	13	35.1%
鏡を見る回数が増えた	10	27.0%
他人の目を意識するようになった	6	16.2%
その他	3	8.1%
特に変わったことはない	12	32.4%

##### 【その他（具体的に）】

- ・メークをちよくちよくするようになった。
- ・持っていなかった化粧品を買ったり、今も物色中の物があります。
- ・きょうみがあった。

#### 5. 友だちにメーク講座を一言で説明するとしたら、何と言いますか

##### 【メークスキルを学べる】

- ・基本を教えてくれる講座。
- ・メークの仕方を教えてもらえる。
- ・基本のメークのしかたを教えてもらいました。
- ・メークの仕方を教えてくれる。
- ・正しいメークの方法できれいになれると言います。
- ・自然な仕上がりになるメーク。
- ・ナチュラルメイクをすすめる。
- ・自然な感じなので、良いと思うと言いたいです。
- ・メークって意外と難しく考える事ないと教わった。
- ・自分に合う色も教えてもらえるし、先生に会うだけでも参加するかいがあるよ～（笑）。
- ・美人の秘訣。
- ・綺麗になれる。

##### 【笑顔になれる場】

- ・楽しい。
- ・メーク講座に参加したけど、楽しかった。
- ・楽しいからやっごらん！
- ・楽しいよ～って言う。
- ・参加したいと思いました。
- ・「受けてみれば」と話します。

##### 【自分と向き合える時間】

- ・イメージチェンジャー。
- ・気分が楽になり落ちつく。
- ・メークのカウンセリングです。
- ・きれいになる。人がかわる。
- ・自分みがき。
- ・本当の自分が見えてくるよ。
- ・自分ではない自分が発見できた。
- ・いいところを見つけてくれる講座。

##### 【あまり効果はない】

- ・あまり良くなかった。自分でやっているのとさがなかった。
- ・このメーク講座はおすすめ出来ない。

## 6. その他メイク講座へのご意見や感想があれば是非教えてください

### 【今後も参加したい】

- ・また来てね。
- ・また講座に参加したいです。
- ・これからも参加したいので、宜しくお願いします。
- ・先生に本当にお礼を言っておいて下さい！
- ・また休みの日であれば参加したい。
- ・私は仕事でほとんど参加できないので、いる時にやってほしいです。

### 【気持ちが前向きになる】

- ・楽しかった。
- ・勉強しました

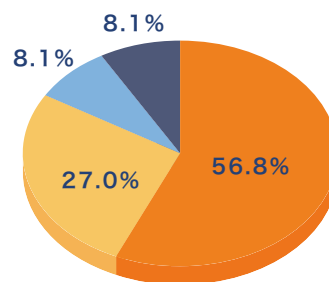
### 【メイクスキルを学びたい】

- ・メモをとりたい。
- ・メイク講座で自分のメイクできれいになったらいいと思う。
- ・アイシャドウの色で何が合うか教えて欲しい。
- ・まゆのカットと描き方をおしえてほしい。
- ・ナチュラルメイク以外のメイクをしてみたいと思った。
- ・もっとくわしく自分にふさわしいメイクのしかたを、おしえてほしい。
- ・もっと詳しく、いろんなやり方をしてみたいです。  
例：四角顔を卵顔になるための、やる方法など
- ・ファッションによつてのメイクをもう少しくわしくなりたい。
- ・しみ、そばかす、しわ、くまをかくすためのお化粧を教えてください。
- ・メイクの方法はその人個人でルールがあるはずで、方法も変化しにくので、パーツごとにテーマを決めての方がうれしい。例えば「目を大きく見せるには」「肌を明るくするには」など、より具体的に、講座全てが理解できなくても、1つでも覚えていれば、何かの時に思い出し、実践できると思うので。せっかくの時間で実行できない内容だと、忙しいので無駄だと思ってしまう。
- ・講座時の説明だけでなく、メイクの仕方やアドバイスの本のようなものを作って欲しい。
- ・自分でメイクするので、結局いつもと変わらないメイクだったので、物足りない感じがしました。メイクをしてもらい、アドバイスして頂ければ、コツがつかめたような・・・？

## 7. 今後もメイク講座に参加したいですか（1つに○）

<span style="color: #e67e22;">■</span> 参加したい	21
<span style="color: #f1c40f;">■</span> まあ参加したい	10
<span style="color: #3498db;">■</span> あまり参加したくない	3
<span style="color: #2c3e50;">■</span> 参加したくない	3

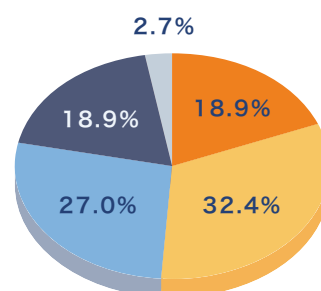
計 37



## 8. あなたの年齢を教えてください（1つに○）

<span style="color: #e67e22;">■</span> 20代	7
<span style="color: #f1c40f;">■</span> 30代	12
<span style="color: #3498db;">■</span> 40代	10
<span style="color: #2c3e50;">■</span> 50代	7
<span style="color: #95a5a6;">■</span> 60代	1

計 37

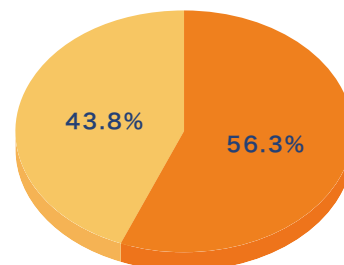


# “ココロにきく”メーク講座アンケート集計 《職員用》

回答者数：16名

## 1. メーク講座の満足度を教えてください。（1つに○）

とても満足	9
満足	7
やや不満足	0
不満足	0

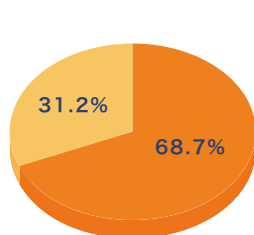


計 16

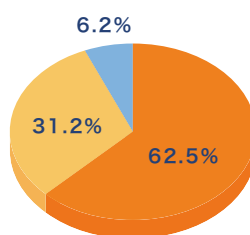
## 2. メーク事業の効果として、以下の各項目について

1) とてもそう思う 2) ややそう思う 3) あまりそう思わない 4) 全くそう思わない  
を教えてください（各項目1つに○）

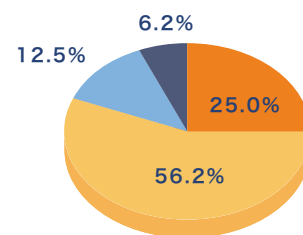
	とてもそう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
1, きれいになった	11	5	0	0	0
2, 笑顔が増えた	10	5	1	0	0
3, コミュニケーションが活性化した	4	9	2	1	0
4, 外出が増えた	0	8	6	1	1
5, 生活の中の楽しみを見出した	5	6	4	1	0
6, 自信の回復を促した	4	10	2	0	0



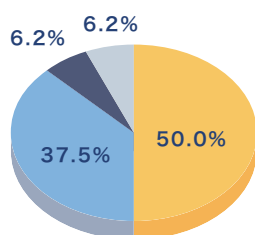
きれいになった



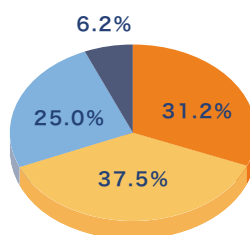
笑顔が増えた



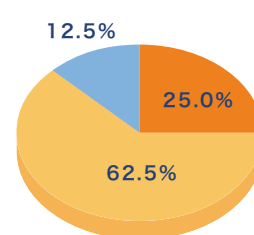
コミュニケーションが活性化した



外出が増えた



生活の中の楽しみを見出した



自信の回復を促した

### 3. 2. の項目以外に、メイク事業の効果や、 メイク事業後の入居者の変化を感じることがあれば、教えてください

#### 【メイクへの関心の高まり】

- ・自分でメイクをやるようになっていた。
- ・メイクを楽しめるようになり、仕事に行く際にも講習で教わったナチュラルメイクをして出勤するようになった。
- ・昔（20年前）の化粧方法と、最近の化粧方法の違いが理解でき、薄化粧を心がけていたようであった。

#### 【精神面への効果】

- ・参加者はとても楽しんでいらしたと思う。
- ・気持ちが前向きになった方がいて、よかったですと思いました。
- ・大事な外出のときなど、メイクをする（される）ことを嫌がるのがなくなり、きれいになって、格好もおしゃれにしようという意識がうまれた。
- ・やはりお化粧して、きれいになることが、こんなにも女性を喜ばせることなのだ改めて気づかされました。きれいになるって本当にいくつになっても嬉しいことですよね。先生の美しさも、皆さんあこがれているようです。
- ・その日はとてもうきうきと気分がアップされていました。自室へ戻られても、余裕をもって子どもたちに接することができたのではないかと思います。
- ・参加を渋りながらも「見学なら」といらして、次の機会にはメイクを試される方が数人いました。先生にほめられながらメイクをして、いつもとは違う笑顔が魅力的でした。

#### 【コミュニケーションの回復】

- ・回を追うごとにファンが増えています。人との関わりも求めているのです。
- ・他利用者同士、メイクという話題で交流を持ちやすく、話しかけやすいため、良い交流の場となっていた。「このお母さん、こんな笑うんだ」「こんな話し方するんだ」など、新しい発見がありました。

#### 【効果の継続への期待】

- ・夏祭り時のメイクは皆とても喜んでいて、いきいきしていましたが、その後日常的にメイクをしている人は、以前同様ほとんどいないように感じました。

### 4. メイク事業を知らない職員に、この事業を一言で説明するとしたら、何と言いますか

#### 【美容の重要性の理解】

- ・女性であることを再認識します。
- ・メイクの仕方をおしえる講座
- ・好印象を与えるメイク教室
- ・女性として日常メイクをすることの大切さを学ぶことができる！！
- ・メイクをしたことがない方にはとてもいい事業です、と言います

#### 【自己理解】

- ・笑顔が輝く、リフレッシュできる、利用者の知らない一面がみれる
- ・メイクをすることで、内側も外側も美しい女性に近付ける自信回復の場
- ・「ナチュラルメイクは御本人の美しさと良さを引きだし、心を明るくし、ご自分に自信を持てるようになる一つだと思います」と伝えます。
- ・自分を大切にすることに、前向きになるための事業
- ・もう1人の自分が見えるかもね？

#### 【ライフスタイルの見直し】

- ・「宝物のような時間を提供する事業」ですかね・・・
- ・生活全般を活性化させる事業
- ・一度参加してみてください



## 5. その他メイク講座へのご意見や感想があれば是非教えてください

### 【自分の時間を持てる】

- ・初めて参加させて頂きましたが、お母様方がいきいきとメイクをされているのを見て、自分も嬉しくなりました。日頃仕事や子育てに忙しいお母様方が、自分自身の世話をする時間が持てて良かったです。有難うございました。
- ・日頃、子育て・家事・仕事に追われているお母さん方にとって、リフレッシュできる場になっていました。化粧という女性なら誰でも興味はあっても、忙しいお母さんたちは後回しになりがちです。参加したお母さんたちはみんな、キラキラ良い表情をされていました。
- ・一時でも参加者の“素颜”での会話や本音が聞かれた事は良かったです。

### 【継続開催の必要性】

- ・まゆ毛の整え方なども学びましたが、時間が短かったので、また丁寧に時間をかけてやっていただくと嬉しいです。
- ・時には好感もてる厚化粧（目をもう少し強調するなど？）教室も良いかなと思う。変化した自分を見ることで、気持ちが前向きになれる。
- ・メイク講座が、日常継続できる（したい）と思えることが大切で、特に外勤の方達が、ナチュラルメイクを身につけ実践してもらえれば良いと思います。
- ・今はまだ講習に参加していない人の中に、他の人がメイクをして変化していく姿を見て、興味を示している人がいます。ぜひ継続して講習を開いていただければと思います。

### 【助成の意義】

- ・助成金を取ってくださり、化粧品、講師代、交通費等々、無料でこのようなプログラムを実施してくださり、本当に感謝します。又、メイク講習を実施して下さった後、お茶も飲まずサッと帰られるあたり、プロだな・・・と感服しております。





### 【プログラムの拡充】

- ・ネイルも一緒にしてもらえると、夏祭りのとき良かったと思います。

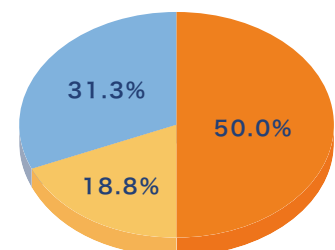
### 【実施時間】

- ・この施設は子どもが小さい子が多いし、仕事で疲れて帰ってくる夜しか出来ないが、昼間、明るいうちに出来ると、また違った感想があるかもしれません。
- ・時間設定が厳しく（夜）、昼等の方が外出する気分になると思った（実際は昼設定にするのは難しいです）。

## 6. 次年度もメイク事業を実施したいですか（1つに○）

	実施したい	8
	まあ実施したい	3
	あまり実施したくない	5
	実施したくない	0

計 16



施設で暮らす女性を対象とした  
メイク事業報告書



<http://shiawasenamida.org/>

2013年3月発行

Supported by Social Welfare Assistance Project ( Welfare And Medical Service Agency )